

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

■ 施設名

野庭地域ケアプラザ

■ 事業計画

1 全事業共通

地域の現状と課題について

<地域の現状>

担当エリア地域では、

- ①高齢化率が 30%以上に達しています。
- ②単身、高齢者世帯の方が増加しています。
- ③認知症一人暮らし世帯の方が増加しています。
- ④認知症の方其々に個別性を求められる支援が多くなり、社会状況の変化に伴い、複数、問題を抱えたケースの対応に、専門職として関わり、社会的資源を有している地域住民や支援者、各関係機関との連携の下、問題解決を図るネットワークづくりに、「野庭地域において身近な福祉保健の拠点」としての役割を果たしています。

<地域の課題>

- ①高齢者夫婦、認知症世帯、独居等の増加で、介護保険事業者・近隣等からの安否確認の問い合わせが増えていること。
- ②困難を抱えた対象者や家族等が引き起こす地域・近隣とのトラブルが年毎に増加していること。
- ③深い問題、課題のある個別相談が増えており、各関係機関・関連団体との緊密な連携が必要。
- ④地域活動を担う役員、住民、ボランティア等の高齢化で、支援者の減少や後継者が不足し、小さなコミュニティでの見守り支えあいができる仕組みが急務である。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ケアプラザが高齢者・子ども・障がい等の様々な方の相談窓口であることをPRします。
- ・基幹相談支援センター等関係機関との連携を意識した相談体制の充実に努めていきます。
- ・自主事業や地域に出向いた際にも相談対応、情報提供に努めていきます。
- ・相談内容や出前講座、自主事業等の参加者のニーズを把握・分析して、地域の特徴や課題を見出し、窓口相談や地域への情報提供の際に活かしていきます。
- ・様々な制度施策・社会資源等の情報把握に努め、相談者への適切な情報提供、支援に繋げていきます。
- ・地域資源情報誌や地域活動情報誌の有効活用に努め、適宜相談者や関係機関・関係団体へ情報提供していきます。
- ・ケアプラザ利用者・来館者とのコミュニケーションを大切にしていきます。

(2) 各事業の連携

- ・5職種が其々の専門的立場から捉えた幅広い地域情報の共有に努めていきます。
- ・5職種が地域課題の解決に向けて、連携・協力し業務、自主事業の展開を図っていきます。
- ・「見守りネットのぼ」「のぼあんしん登録」事業において、5職種の役割を活かし、見守り活動の重要性を普及啓発し、地域の見守り活動がより活性化できるよう努めていきます。
- ・「のぼ元気のちかみちネットワーク」「団暖会ぽかぽかハートネットワーク」事業に5職種で連携し取り組んでいきます。
- ・地域支援や個別支援から見えてくる課題を5職種で共有し、地域ケア会議等を通してその課題を発信し、地域でできる支援、地域力の育成を共に考え行動できるよう支援していきます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・常勤職員の適切な基準配置に努めていきます。
- ・職員研修の年間計画を立案し開催していきます。
- ・職員による事例研究活動を行っていきます。
- ・労働災害防止と快適な職場環境の整備、職員の安全と健康確保に努めていきます。
- ・地域の福祉保健の拠点として、利用者、事業者への公正で中立性の高い情報提供、事業運営に努めていきます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 港南ひまわりプラン及び各地区（野庭住宅、野庭団地、永野）の地福計画の3年目推進、実行の支援に努めていきます。
- ・ 「見守りネットのぼ事業」「見守り協力事業者事業」「のぼこども食堂」が港南ひまわりプランの観点からも地域がつながるきっかけになることを5職種で共有しネットワークの拡大、拡充に努めていきます。
- ・ 引き続き「のぼ元気のちかみちネットワーク」を展開し野庭地域の介護予防・生活支援活動の拡充に取り組みます。

(5) 区行政との協働

- ・ 港南ひまわりプランに関して、地域住民・活動団体の方々が、其々の立場でできることを支援し地域のつながりや支えあいのネットワークが充実するように区役所と連携して推進していきます。
- ・ ひまわりホルダー、見守り協力事業者事業を区と協働で推進していきます。
- ・ 各地区（野庭住宅、野庭団地、永野）の区役所担当職員と定期的に地域に関する情報や支援の方向性の共有を図り、地域支援・個別支援に活用していきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域や利用者のニーズ、要望等に応じた自主事業を実施していきます。

- 高齢者支援事業
ボランティア育成支援や健康づくり、外出支援の為のサロン、セカンドライフ支援等を目的とした事業の開催
- 子ども、子育て支援事業
 - ・ 親子の交流、憩いの場の提供
 - ・ 親御さんの為の健康保持支援
 - ・ のぼこども食堂の開催支援
- 障がい者[児]支援事業
 - ・ 港南なつっこ、港南ふゆっこの開催支援
 - ・ こうなん来夢への販売の場の提供
- 地域との交流を目的とした行事の開催
- 地域の行事や福祉保健活動事業への参加

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・貸し館登録団体Ⅰが定期的、継続的に活動できる場を提供していきます。
- ・貸し館登録団体Ⅱが地域やケアプラザで地域貢献、ボランティア活動できる場をコーディネートしていきます。
- ・貸し館利用をPRし、利用促進の取組みを行っていきます。
- ・貸し館登録団体がお部屋を快適に利用できる環境整備に努めていきます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

「ボランティア支援育成事業：団暖会ほかほかハートネットワーク」を5職種協働で行っていきます。

- ボランティアの皆さんのできること、やりたいことを一緒に考え、地域で活躍できる場や機会をつくります。
- ボランティア育成の為に勉強会を開催します。
- ボランティア同士の交流、仲間づくり、情報共有が行える交流会を開催します。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・地域の方々、来館者・利用者の暮らしに役立つ情報を提供していく為に、地域資源情報誌「のぼ生活応援マップ」を活用していきます。
- ・ケアプラザ広報紙を6回/年発行します。
- ・野庭地域ケアプラザ便り（カレンダー等）を1回/月発行します
- ・HPの1回/月更新していきます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・5職種で目標・目的を共有し、それぞれの専門性を活かしながら各種事業の共催をはじめ、業務における協働に努めます。
- ・コーディネーター連絡会を中心とした機会を活用し、区役所・区社協・他ケアプラザと事業の推進に関わる情報共有を行います。
- ・「生活支援コーディネーター普及パンフレット」や「のぼ生活応援マップ」を活用し自身の取組や生活支援の必要性を発信します。
- ・広報誌に生活支援体制整備事業や地域資源の情報について毎号掲載し、幅広い層への周知を行います。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・総合相談、相談票やヒアリング等を通して、地域の高齢者の生活実態・個別ニーズの把握に努め、生活課題の改善方法の検討・開発に繋がります。
- ・住民主体の地域活動、事業所や企業との関係作り・ネットワークづくりを進めながら、サービス・活動の情報収集を行います。
- ・把握した地域の活動情報、インフォーマルサービス等の情報について、職種間でも共有を行い適切な地域への還元方法を検討していきます。
- ・地域ニーズに即した情報提供のため、既存の刊行物を活用する他、新たな情報提供媒体の作成・活用の検討を行います。

(3) 連携・協議の場

- ・地域に即した資源・サービスの開発が行える様、検討・支援します。
- ・地域づくりを考えるとともに講座などを提案し、地域主体の協議の場づくりの支援を行います。
- ・地域の連携・協議の場に参加し必要な生活支援、介護予防、社会参加活動、サービスなどの創出や継続に向け働きかけます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・担当圏域を超え、生活圈域を意識した資源・サービスの情報把握に努めます。
- ・地区支援チーム会議や各種連絡会などを通し、広域の課題・情報を共有します。
- ・港南ひまわりプランと地区別計画の推進にあたり、生活支援の充実した地域づくりを意識した支援を行います。
- ・引き続き関わりの少なかった自治会や活動へアプローチし、支援に向けた関係づくりを行います。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・「見守りネットのば連絡会」を引き続き開催していきます。
- ・地域活動情報誌等の社会資源マップやリストをケアマネジャーがケアプラン作成に活用できるよう、働きかけていきます。また、地域の関係団体、機関とも連携し情報共有していきます。
- ・エリア内で行われている地域支えあいネットワーク会議やその打ち合わせに出席、地域住民から出た意見等を地域の総合相談ととらえ、地域交流及び生活支援コーディネーターと包括職員が、各専門性を活かして関係機関とも共有しながら、共に活動を支援していきます。
- ・地区民児協・地区社協の協力を得ながら、地域住民に「包括支援センターについて」「健康づくり」「各種制度」の理解が深まるような出前講座を開催していきます。
- ・のば元気のちかみちネットワーク連絡会等を通して地域住民や関係機関との連携を深め野庭地域における介護予防・生活支援のネットワークを構築していきます。

② 実態把握

- ・閉じこもりや見守りの必要のある方（要援護者）などは、関係機関と連携し実態把握に努めます。
- ・地域住民の集まりや事業開催時などにアンケートを実施し、実態把握に努めます。生活支援体制整備事業とも連動させ、地域の方々の心配事や要望等、地域のニーズを今後の事業展開に活かします。
- ・地域の活動情報、介護予防事業、インフォーマルサービス等の地域資源を積極的に把握、集約し地域に還元できるように努めます。
- ・野庭エリアの各種統計資料や相談業務、CP事業、介護保険事業等から得られる情報を集約し地域課題抽出に積極的に活用します。

③総合相談支援

- ・地域の活動情報、介護予防事業、インフォーマルサービス等の地域資源を情報提供し相談対応に活かします。必要に応じ関係機関や制度につなぎます。
- ・相談窓口や自主事業、出前講座等を通して高齢者のニーズ把握に努めます。
- ・相談内容を分析し、地域に還元できる情報としてまとめます。また、事業展開するための情報源として生活支援体制整備事業にも活用していきます。
- ・相談内容により、区役所、医療機関など関係機関との連携、連絡調整を臨機応変に行ない、スムーズな解決へ導けるよう努めます。
- ・定期カンファレンスを開催し、区や区社協職員などと情報共有し、統一した方向性で支援ができるよう努めます。複合的な問題には、医療機関や民生委員など関係機関との連携にも努めます。
- ・切れ目ない相談対応をするため、職員間の速やかな情報共有（相談票管理を含め）に努めます。
- ・相談後もフォローすることをPRし、必要に応じて継続支援をしていきます。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ケアプラザ事業や出前講座、サロン等の機会に、成年後見制度のパンフレットを活用、情報発信し普及啓発に努めます。外部研修で得た知識をケアプラザの包括・居宅に情報提供の勉強会を行い、理解推進を図ります。
- ・区役所・区社協をはじめ、関係機関と連携し、成年後見制度の手続き、申立ての支援を適切に行えるよう努めます。
- ・悪質商法被害・詐欺被害の予防について出前講座等の機会を活用し普及啓発を行い地域の防犯意識の向上に努めます。

②高齢者虐待への対応

- ・介護者の孤立防止と休息、介護者同士の交流を目的とした介護者のつどい「なごみの会」取り組みについて充実化を検討します
- ・相談者へ地域の身近な相談機関としてケアプラザをPRしていく他、「なごみの会」を含めた地域の介護者の集い等介護者向けの情報提供に努め、介護負担の増加や介護者の孤立を防ぎます。
- ・地域住民、民生委員やケアマネジャーなどに虐待防止に関する普及啓発を積極的に行い関係機関が連携し早期発見に努めます。
- ・虐待、又はその疑いがある相談を受けた場合、速やかに区職員へ報告し、各専門職とそれぞれの役割を確認、連携し、適切な支援を展開していきます。

③ 認知症

- ・ 認知症の正しい理解の促進のため、普及啓発等（認知症サポーター養成講座など）を地域の認知症キャラバンメイトと協力し積極的に行います。
- ・ 普及啓発は地域住民に留まらず、若い世代（小中学生）や企業・職域団体にも積極的に行います。その際、関係機関が連携出来るよう働きかけていきます。
- ・ 野庭エリアキャラバンメイト連絡会（NOBA メイトの会）を支援し、認知症普及啓発活動やネットワークづくりについて考え取り組みます。
- ・ なごみの会（介護者のつどい）を開催し、介護についての勉強会や情報交換など、介護者同士の交流の機会を設け、介護者が孤立しないよう働きかけます。介護経験者やボランティアの協力を得て支援体制の充実をはかります。
- ・ 認知症の人や家族を支える仕組み等、認知症に関する情報を発信し、周知していきます。
- ・ 居宅介護支援事業所、区役所、地域福祉保健活動団等と連携し、必要に応じて訪問やカンファレンス等を開催し、多職種アプローチによる継続的な支援に努めていきます。
- ・ のば見守りネットワークの協力事業者・団体と連携し、認知症の方や家族が日常生活においても理解や支援が得られる環境づくりに努めていきます。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 「見守りネットのば連絡会」で地域住民、事業者が行っている見守り活動の発表会を実施し、共に、エリア全体での行われている見守り活動の実態を把握していきます。
- ・ 「のばあんしん登録」「ひまわりホルダー」事業を地域住民に周知し、地域で行うゆるやかな見守り活動を推進していきます。
- ・ 配達業者等と定期的に情報交換を行います。
- ・ ケアマネジャーが「地域活動情報誌」を活用してケアプラン作成できる支援をしていきます。
- ・ 「民生委員とケアマネジャー連絡票」の活用を推進していきます。
- ・ ケアマネジャーがインフォーマルサービスの一つとして位置づけることができるよう、地区社協とより積極的な関わりを行っていきます。
- ・ ひとり暮らし高齢者見守り事業への協力を引き続き行っていきます。
- ・ 担当エリア内の民児協向けに適宜、研修協力をしていきます。
- ・ 港南ひまわりプラン及び各地区別の地福計画の推進に向けて関係機関・関係団体との情報交換・情報共有に努めながらニーズを把握し、地域活動を支援していきます。

②医療・介護の連携推進支援

- ・エリア内薬局との関係構築を進めていく。薬剤師によるケアマネジャー向けのミニ講座を実施していきます。
- ・地域ケアプラザ協力医からアドバイスを頂きながら、地域包括ケアの推進を行っていきます。
- ・今年度も区内開業医、ケアマネジャー、サービス提供事業者等のネットワーク構築、専門性の向上を目的として、「医福ネット港南」の開催支援を行うとともに、エリア内居宅介護支援事業所に、参加の働きかけを積極的に行っていきます。
- ・単身高齢者や高齢者夫婦のみという世帯が多いエリアであり、加齢に伴い医療・介護の必要性がある世帯も多くなってきています。港南区在宅医療相談室の活用し、住み慣れた地域で継続して生活できるよう支援していきます。
- ・港南区医療機関情報シートがケアマネジャーと医療機関との連携に活用できるよう支援を引き続き行っていきます。

③ケアマネジャー支援

- ・生活支援コーディネーターとも連携しながら、地域で行われている活動（サロンや見守り・たすけあい等）をケアマネジャーに提供するとともに、ケアプランにとりこめるよう支援をしていきます。
- ・ケアマネジャーからの様々なケースの相談に随時対応し、支援の方向性を共有していきます。
- ・区カンファレンスへの積極的参加をすすめ、情報共有し支援の方法を共に考え、ケアマネジャーの役割について助言していきます。
- ・個人の自立に向け、特に要支援認定を受けている方のケアプラン作成を委託しているケアマネジャーに対し、生活支援及び地域活動交流コーディネーターと共有した地域の生活支援の情報提供を行います。
- ・困難事例の担当者会議の開催支援を行います。
- ・今年度も区内包括主任ケアマネ、区との共同で新任ケアマネ研修を開催予定。施設見学と研修を計画していきます。
- ・新任ケアマネジャー研修を受けたケアマネジャーが、継続して学べる機会が持てるような自主勉強会の立ち上げを支援していきます。
- ・区ケアマネ連絡会に出席。事務局会議の内容は区内包括主任ケアマネで共有していきます。また区ケアマネ連絡会に入会しているケアマネジャーと研修等を共同開催していきます。（奇数月開催予定）
- ・ケアマネサロンを2ヶ所のケアプラザで実施。情報提供、共有の場としていきます。
- ・ケアマネジメント講座を開催します。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・住み慣れた地域で生活をするための支援と、それを支える社会基盤の整備を同時に進めていけるよう地域ケア会議を開催。
- ・単位自治会で行われている「見守り・助けあい」活動をマップ等で見える化していきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 事業対象者、要支援者の主体的な行動や活動意欲を引き出し目標指向型の介護予防プランを作成します。
- ・ 予防プランには介護保険サービスの他に地域の様々な社会資源を活用します。
- ・ 委託先のケアマネジャーが適切なケアマネジメントができるよう介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、スキルアップを目指します。
- ・ 委託事業所（居宅介護支援事業所）のケアマネジャーやサービス提供事業者など関係団体の連携のためのネットワーク強化をはかります。又、担当エリアの介護予防活動をはじめとするインフォーマルサービスの情報を積極的に発信します。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 地域の高齢者の状態を把握し介護予防のきっかけとなる情報提供や活動への参加につながる支援を積極的に行います。また、介護予防の具体的な取り組み（認知症予防、フットケア、口腔ケア、栄養改善、運動など）に参加できる機会を提供します。
- ・ 講座終了後は、OB会の立ち上げ支援やすでに活動している介護予防活動グループへ参加を促すなど、介護予防の取り組みが継続できるよう支援します。すでに自主化しているグループに対しても活動が継続できるよう支援していきます。
- ・ 地域の高齢者の介護予防活動に関わっている支援者を対象に、介護予防に必要な知識を伝えていきます
- ・ 地域の集会所などで行われている地域活動の情報を把握し積極的に発信します。
- ・ 地域の中で介護予防の取り組みが広がるように、介護予防・生活支援ネットワーク（のば元気のちかみちネットワーク）の構築に力を入れます。そのために、関係機関の連絡会や交流会を開催します。
- ・ あらゆる世代が健康に対し関心をもち健康づくり活動に参加することができるよう地域出前講座（健康づくり・介護予防等）や健康講座を開催します。
- ・ 元気づくりステーション事業に関しては、地域の現状を把握し、課題を抽出した上で区役所と連携し必要な支援を行います。

■ 施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・長年の使用による設備、備品の劣化や、不備等の発生が多くなっています。発生した場合は、行政と連携して支障がないように迅速に対応していきます。
- ・来館者、利用者が安心、安全、快適にご利用頂ける様、建物、施設内の設備機器、備品類等の管理、メンテナンスに努めていきます。
- ・施設内の日常清掃や手すり、貸し館備品等の消毒を行い、清潔感ある館内であるように努めていきます。
- ・野庭地区センターとの複合施設として施設管理、植栽管理等に係る情報共有に努め適正な施設の維持管理に努めていきます。

イ 効率的な運営への取組について

- ・事業目標を達成する為に、事業計画、予算を計画的に遂行していきます。
- ・事業を効率よく運営していく為、職員同士が円滑にコミュニケーションできる、所内で各種情報を共有できる環境づくりに努めていきます。
- ・予算内で適正運営を行っていく共通認識を持ち、経費削減に努めていきます。

ウ 苦情受付体制について

- ・法人共通の「苦情解決取り扱い要綱」に則り、要望・苦情に関しては、迅速かつ適切に対応していきます。
- ・受付窓口、デイルームに、苦情・要望の対応方法等をわかりやすく説明した「苦情解決の仕組み」を掲示しています。
- ・ご意見箱の設置（事務所受付・デイサービス洗面所）やご意見ダイヤルの案内を掲示して、来館者、利用者の苦情・要望を寄せやすくしています。
- ・ホームページや広報紙に、ケアプラザに対するご意見、ご要望用のメールアドレスを掲載して、幅広く地域からの声が拾える体制を整えています。
- ・待遇、マナーに関する職員研修を実施して、利用者一人ひとりに満足して利用して頂ける施設を目指していきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・災害発生時には、災害応急マニュアルに則り運営していきます。
- ・福祉避難所として、食料、水、避難物資等の不足がないように災害応急備蓄を計画的に整備していきます。
- ・事故や感染症発生時に、迅速かつ適切に対応できるようにリスクマネジメント研修を実施していきます。
- ・施設内及び外部での緊急事態に備えて AED を設置しています。
- ・警備会社による機械警備を実施しています。異常時には、24 時間、警備員が施設に急行する体制を整えています。
- ・野庭地区センターとの合同で、防災訓練を 2 回実施します。

オ 事故防止への取組について

- ・ 事故発生時は、「ヒヤリハット・事故規定」に則り、カンファレンスを開催して対応策等の情報を共有し再発防止策を実施していきます。
- ・ ヒヤリハットは、部署内だけではなくリスクマネジメント委員会でも分析、対応策等の検討を行い所内全体で共有、事故の未然防止に努めていきます。
- ・ リスクマネージャーを中心に事事故例や、事故防止の取組みを検討、事故対応、防止策の統一事項を、職員に提言、周知に努めていきます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 「個人情報保護管理規程」に則り、保有する個人情報を適切に取り扱っていきます。
- ・ 個人情報が記載されている物の取扱いを慎重に行い、漏洩防止に努めていきます。
 - 施錠のかかる棚、引き出し等への保管徹底
 - FAX送信取扱い時に複数によるダブルチェック、個人が特定できないようマスキングを実施
 - USBの保管状況確認一覧を作成し、管理ナンバーを付けてのデータ内容把握、保管管理場所の徹底
 - ケアプラザ所有携帯電話、PCデータ漏洩防止の為、各自の暗証番号を設定、セキュリティによる管理の徹底
 - 裏紙再利用の際、複数によるダブルチェックの徹底
- ・ 個人情報、プライバシー保護に関する研修を開催します。
- ・ 「特定個人情報取り扱い要領」に則り、マイナンバーの取扱いに関しては、施設業務において厳格に対応していきます。

キ 情報公開への取組について

- ・ 地域ケアプラザ便り、広報紙を定期的に発行していきます。
- ・ ホームページを活用して、最新情報、各種事業案内等を公開していきます。
- ・ 事業報告、事業計画、各種要綱等は、受付窓口にて閲覧できるようにしています。
- ・ 野庭地域ケアプラザ運営協議会を開催し、事業計画、報告、懸案議題、地域の現状課題等の意見交換を行い、運営委員の方々との情報提供・情報共有の場とします。
- ・ 各部署で実施した利用者アンケートは、集計・考察結果を情報開示していきます。

ク 人権啓発への取組について

- ・ 地域支援や居宅介護支援、相談業務等に携わる職員として、人権配慮が、態度や行動に現れるような感覚を持てるように、人権尊重の理念についての理解を深めるようケアプラザ全体で努めていきます。
- ・ 人権尊重の大切さや人権について考えるきっかけとなる内容を盛り込んだ広報紙等を、様々な機会に配布・掲示していきます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ・ 建物周辺、野庭中央公園のゴミ回収等を毎日行います。
- ・ 「ヨコハマ 3R 夢」を推進し、資源ゴミの分別排出を職場内で徹底していきます。
- ・ 植栽の維持管理は、外部業者に委託し良好な景観保持に努めます。
- ・ 管理標準に則り、環境等への配慮に取り組んでいきます。
 - 適切な冷暖房の使用に心がけ、館内の空調が適正温度になるように努めます。
 - 使用していない部屋の消灯に心がけます。
 - 不使用時の印刷機・パソコン等は電源を落とすよう心がけます。
- ・ フロン排出抑制法に則り、対象機器の適正な使用環境を維持、確保し管理、点検に努めていきます。
- ・ 印刷機のトナー等はリサイクルで対応していきます。

■ 介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者（保健師等と兼務）	1名
保健師等	1名
社会福祉士	2名
主任ケアマネジャー	1名
ケアマネジャー	1名

《目標》

- ・ 社会資源の情報集約・発信・プランへの活用を促進します。
- ・ 関係団体とのネットワークを強化します。
- ・ 介護予防ケアマネジメント力の向上に努めます。

【具体策】

- ・ 事業対象者、要支援者の主体的な行動や活動意欲を引き出し目標指向型の介護予防プランを作成します。
- ・ 予防プランには介護保険サービスの他に地域の様々な社会資源を活用します。
- ・ 委託先のケアマネジャーが適切なケアマネジメントができるよう介護予防支援業務に関する研修会等を実施し、スキルアップを目指します。
- ・ 委託事業所（居宅介護支援事業所）のケアマネジャーやサービス提供事業者など関係団体の連携のためのネットワーク強化をはかります。又、担当エリアの介護予防活動をはじめとするインフォーマルサービスの情報を積極的に発信します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》 なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 介護予防講座「元気のちかみち 2018」、のば健康講座、ロコモ予防講座、健康出前講座を開催します。
- ・ 介護予防・生活支援 NT「のば元気のちかみちネットワーク」にて関係団体との意見交換等で総合事業を推進し多様なサービスが活用できる地域づくりをします。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
220	220	220	220	220	220
10月	11月	12月	1月	2月	3月
220	220	220	220	220	220

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（常勤兼務）	1名
介護支援専門員（常勤）	3名
介護支援専門員（非常勤）	2名

《目標》

- ・各種相談に迅速に対応ができるように事業所内での情報共有や、関係機関との連携を強化していきます。
- ・医療依存度の高い方、ターミナルケアの受け入れを積極的に行います。適切なプラン作成のための医療知識の習得に努めていきます。
- ・地域包括、生活支援との連携を深め、社会資源を盛り込んだ自立支援を目指すケアプランの作成に努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域包括支援センターの受託法人の居宅支援事業所として、地域包括・区役所高齢障害担当ケースワーカーとの連携を密にとりながら、支援困難な事例にも積極的に対応していきます。
- ・地域の取り組みを実際目で把握し、介護保険以外の社会資源も対象者には積極的に提案していきます。自立の意識が持てるようなプランの作成に努めます。
- ・医療機関との連携も強化し、医療依存度の高い方も積極的に受け入れ、ご本人の安楽と、ご家族のメンタル面でのケアにも誠意をもって対応していきます。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
147	147	147	147	147	147
10月	11月	12月	1月	2月	3月
147	147	147	147	147	147

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ・健康チェック、入浴、食事、清潔、排泄ケア 個別機能訓練、介護者相談
- ・日常生活上の支援

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要介護1)	662円	1323円
(要介護2)	782円	1563円
(要介護3)	905円	1810円
(要介護4)	1030円	2059円
(要介護5)	1154円	2307円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》9:30~16:30

《職員体制》

管理者	1名	(常勤兼務)
生活相談員	2名	(介護福祉士) 常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名	(看護師) 常勤専従1名 非常勤兼務4名
介護職	13名	(介護福祉士等) 常勤兼務1名 非常勤専従12名
機能訓練指導員	5名	(看護師) 常勤専従1名 非常勤兼務4名
運転手・事務員	8名	非常勤

《目標》

- ・自立支援に向けて、入浴、食事、趣味娯楽、個別機能訓練などを介護職・専門看護職がプランを作成しサービス提供いたします。
- ・ご利用者の意見を尊重し、少人数レクリエーションやクラブ活動趣味活動のプログラム支援を行います。
- ・ご利用者が明るく楽しく生き甲斐を持って過ごして頂けるよう工夫していきます。
- ・ご利用者のニーズに対応できるよう、常にサービス向上を目指していきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご利用者が在宅生活を継続できるように、個別機能訓練等で可能な動作を最大限に活かし脳の活性化・手先を鍛える・身体を鍛える・身体を癒す等のリハビリに繋がるようなプログラムを選択し、楽しんでまた意欲的に行えるような支援に努めていきます。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
984	1017	984	1017	1017	984
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1017	984	918	918	918	1017

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- ・介護者相談・健康チェック・入浴・食事・清潔・排泄ケア
- ・運動器機能訓練：歩行訓練・階段昇降・転倒予防運動（各種の用具使用）
- ・生活機能向上グループ活動：グループ体操・創作活動

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
要支援1	1766円	3531円
要支援2（週1回）	1766円	3531円
要支援2（週2回）	3621円	7241円

- 食費負担（おやつ含む） 710円
- 有償サービス 紙パンツ120円、紙パット50円

《事業実施日数》対象者が通所している曜日、週7日（生活向上グループ活動実施）

《提供時間》 9：30 ～16：30 但し、途中でも自由に帰宅できます

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	2名（介護福祉士）常勤専従1名 常勤兼務1名
看護職	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
介護職	13名（介護福祉士等）常勤兼務1名 非常勤専従12名
機能訓練指導員	5名（看護師）常勤専従1名 非常勤兼務4名
運転手・事務員	8名 非常勤

《目標》

- ・「本人のできることはできる限り本人が行う」ことが重要であり、運動器機能向上や社会と積極的に接する機会を提供することにより自立支援を促していきます。その結果を、評価シートを用いてフィードバックしていきます。
- 《その他（特徴的な取組、PR等）》
- ・専門技術を学んだ職員が階段昇降台、ペダルこぎ、平行棒を新たに増やし筋力アップ等の運動器機能向上を図ります。
- ・万歩計を使い数字をご自分でカードに記入していただくことで飽きない工夫を凝らし、楽しくできるように配慮していきます。
- ・在宅生活が継続できるように、脳の活性化、手先を鍛える、身体を鍛える、身体を癒す等のリハビリに繋がるプログラムを行っていきます。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	5	5	5	5	5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	5	5	5	5	5

平成30年度「野産地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,787,912		13,787,912	13,787,912	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,032,225		3,032,225	3,032,225	0	GND光熱費控除139,588、提案額利用料金収支の活用 9,890,632
収入合計	20,407,637	0	20,407,637	20,407,637	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,109,159	0	13,109,159	0	13,109,159	
本俸	8,671,705		8,671,705	0	8,671,705	
社会保険料	1,214,074		1,214,074	0	1,214,074	
手当計	3,030,859		3,030,859	0	3,030,859	
健康診断費	40,298		40,298	0	40,298	
勤労者福祉共済掛金	7,315		7,315	0	7,315	ママふりしど
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	144,908		144,908	0	144,908	
事務費	1,521,221	0	1,521,221	0	1,521,221	
旅費	20,208		20,208	0	20,208	
消耗品費	221,881		221,881	0	221,881	
会議随費	8,528		8,528	0	8,528	
印刷製本費	129,343		129,343	0	129,343	
通信費	413,071		413,071	0	413,071	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	31,227		31,227	0	31,227	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	79,861		79,861	0	79,861	
リース料	116,940		116,940	0	116,940	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	500,162		500,162	0	500,162	
事業費	107,901	0	107,901	0	107,901	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算・指定額
指定管理料充当 事業	65,901		65,901	0	65,901	
管理費	4,620,623	0	4,620,623	0	4,620,623	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	2,662,039	0	2,662,039	0	2,662,039	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	620,071		620,071	0	620,071	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算・指定額
機械整備費	73,178		73,178	0	73,178	
設備保全費	508,781	0	508,781	0	508,781	
空調衛生設備保守	319,291		319,291	0	319,291	
消防設備保守	30,928		30,928	0	30,928	
電気設備保守	35,284		35,284	0	35,284	
害虫駆除清掃保守	10,237		10,237	0	10,237	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	113,041		113,041	0	113,041	
共益費	0		0	0	0	
その他	282,554		282,554	0	282,554	
公租公課	1,048,733	0	1,048,733	0	1,048,733	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	1,048,733		1,048,733	0	1,048,733	人件費にかかる消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
ニーズ対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	20,407,637	0	20,407,637	0	20,407,637	
差引	0	0	0	20,407,637	△ 20,407,637	

自主事業費収入	65,901		65,901	0	65,901	
自主事業費支出	65,901		65,901	0	65,901	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「野庭地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,569,000		28,569,000		28,569,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他(指定管理充当分)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,824,804		2,824,804	2,824,804	0	利用料金収支の活用
収入合計	37,333,804	0	37,333,804	2,824,804	34,509,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,395,023	0	33,395,023	0	33,395,023	
本俸	20,802,983		20,802,983		20,802,983	
社会保険料	4,191,840		4,191,840		4,191,840	
手当計	7,843,652		7,843,652		7,843,652	
健康診断費	86,363		86,363		86,363	
勤労者福祉共済掛金	33,332		33,332		33,332	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	436,853		436,853		436,853	
事務費	1,569,526	0	1,569,526	0	1,569,526	
旅費	16,356		16,356		16,356	
消耗品費	81,293		81,293		81,293	
会議随費	632		632		632	
印刷製本費	19,563		19,563		19,563	
通信費	176,084		176,084		176,084	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	25,941		25,941		25,941	
振込手数料	550,736		550,736		550,736	
リース料	173,589		173,589		173,589	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	525,332		525,332		525,332	
事業費	1,140,998	0	1,140,998	0	1,140,998	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	50,998		50,998		50,998	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,228,257	0	1,228,257	0	1,228,257	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	699,967	0	699,967	0	699,967	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	163,041		163,041		163,041	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械警備費	19,241		19,241		19,241	
設備保全費	133,774	0	133,774	0	133,774	
空調衛生設備保守	83,955		83,955		83,955	
消防設備保守	8,131		8,131		8,131	
電気設備保守	9,277		9,277		9,277	
害虫駆除清掃保守	2,690		2,690		2,690	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	29,721		29,721		29,721	
共益費	0		0		0	
その他	86,234		86,234		86,234	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当施設設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	37,333,804	0	37,333,804	0	37,333,804	
差引	0	0	0	2,824,804	△ 2,824,804	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市野庭地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,678		5,678	23,633		23,633	115,398		115,398	3,062		3,062
	その他	6,138	0	6,138	1,505	0	1,505	9,205	0	9,205	429	0	429
	介護予防ケアマネジメント費	6,138		6,138			0			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	介護認定調査委託費			0	1,416		1,416			0			0
	雑収入費			0			0	8,531		8,531	415		415
				0			0			0			0
	その他			0	89		89	674		674	14		14
	収入合計(A)	11,816	0	11,816	25,138		25,138	124,603		124,603	3,491	0	3,491
	支出	人件費			0	21,270		21,270	51,621		51,621	2,660	
事務費				0			0			0			0
事業費				0	1,355		1,355	22,451		22,451	1,157		1,157
管理費				0	856		856	6,245		6,245	320		320
その他		8,961	0	8,961	0	0	0	120	0	120	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0	120		120			0
消費税				0			0			0			0
介護予防プラン委託料		8,961		8,961			0			0			0
				0			0			0			0
その他				0			0			0			0
支出合計(B)	8,961	0	8,961	23,481	0	23,481	80,437	0	80,437	4,137	0	4,137	
収支 (A)-(B)	2,855	0	2,855	1,657	0	1,657	44,166	0	44,166	-646	0	-646	

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
男性クッキングのば	男性高齢者	120,000	地活	0	120,000	0	72,168	47,832	0
	10人		包括						
	1000円		介護						
どれみの森のおともだち	幼児と親	80,000	地活	0	80,000	0	60,140	19,860	0
	20組		包括						
	400円		介護						
のびのびヨガ教室	高齢者	207,000	地活	0	207,000	0	161,370	45,630	0
	15人		包括						
	600円		介護						
ママと子のおしゃべりサロン	幼児と親	5,000	地活	5,000	0	0	0	5,000	0
	フリー		包括						
	無料		介護						
にこにこ野庭サロン	高齢者	20,000	地活	0	20,000	0	0	20,000	0
	20人		包括						
	100円		介護						
港南なつっこ (港南区社協と共催)	障害児	20,000	地活	0	8,000	12,000	0	20,000	0
	8人		包括						
	1000円		介護						
野庭住宅連合自治会 夏祭り (模擬店出店)	地域住民	100,000	地活	20,000	80,000	0	0	100,000	0
	-		包括						
	実費負担		介護						
野庭ふれあいまつり	地域住民	70,000	地活	5,000	65,000	0	0	70,000	0
	-		包括						
	実費負担		介護						
2018 こどもフェスティバル	地域の幼児	1,000	地活	1,000	0	0	0	1,000	0
	-		包括						
	無料		介護						
野庭住宅チャリティバ ザー&福祉フェスタ (模擬店出店)	地域住民	20,000	地活	5,000	15,000	0	0	20,000	0
	-		包括						
	実費負担		介護						
団暖会ぽかぽかハート ネットワーク	地域ボランティア	10,000	地活	0	10,000	0	0	10,000	0
	50人		包括						
	100円		介護						
のばこども食堂	地域の子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	50人		包括						
	100円		介護						
うたの広場	地域住民	24,000	地活	0	24,000	0	21,048	2,952	0
	40人		包括						
	200円		介護						

平成30年度 自主事業収支計画書

子育てママの健康美ヨガ	幼児と親	75,000	地活	0	75,000	0	70,160	4,840	0
	15組		包括						
	500円		介護						
みちかな芸術家たち	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	-		包括						
	-		介護						
(介護予防生活支援事業連絡会) のば元気のちかみち ネットワーク	地域活動団体	5,000	地活		0	0	0	5,000	0
	20人		包括	5,000					
	-		介護						
見守りネットのば連絡会	関係団体・地域住民	5,000	地活		0	0	0	5,000	0
	50名		包括	5,000					
	-		介護						
元気づくりST事業 膝ちゃんクラブ	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	40名		包括	0					
	-		介護						
なごみの会 (介護者のつどい)	介護者など	0	地活		0	0	0	0	0
	40名		包括	0					
	-		介護						
出前講座	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	500名		包括	0					
	-		介護						
転ばぬ先の杖	地域住民	0	地活		0	0	0	0	0
	50名		包括	0					
	-		介護						
民生委員とケアマネ ジャーとの連絡会	民生委員 ケアマネージャー	10,000	地活		0	0	10,000	0	0
	50名		包括	10,000					
	-		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業計画書

横浜市野庭地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防生活支援連絡会のば元気のちかみちネットワーク	野庭地域の実情に合わせた多様で柔軟な生活支援のある地域づくり、また介護予防・生活支援活動の活性化と各関係機関、団体のネットワークづくりを目的とし開催します。	平成30年度 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康チェックコーナー（野庭ふれあいまつり）	ケアプラザ・地区センターの合同まつり（ふれあいまつり）で健康チェックコーナーを設け、介護予防普及啓発活動を行います。	平成30年10月 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
（介護予防普及強化事業）元気のちかみち2018	高齢者が住み慣れた身近な地域で介護予防を意識し、介護予防の具体的な取り組みを始めるきっかけとなる機会を提供し、日常生活の中で身体状況に応じた介護予防活動を実践する高齢者がふえることを目指し開催します。	平成30年5月 全4回1コース開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
（介護予防普及強化事業）いつまでも歩ける体づくり講座	介護要因の第2位を占めるロコモティブシンドロームを予防することを目的として開催しました。関節痛予防改善体操を中心に実施します。	平成30年6・10月 平成31年1月 3回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりST事業 膝ちゃんクラブ	高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができることを目的に介護予防活動のグループの立ち上げや継続的な支援を行います。	平成30年7月～ 2回/月開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみの会（介護者のつどい）	認知症の家族の介護をされている方、ご自身やご家族の介護についてご関心のある方、介護経験のある方などを対象に、他の方と話し合ったり、介護に役立つ勉強会をしたりしながら、気持ちを「なごやか」することを目的として実施します。	10回開催 毎月第3木曜日 (8月・1月は休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	介護保険制度、認知症予防、介護予防、悪質商法や成年後見制度などの普及啓発を目的とした出前講座を随時実施します（認知症サポーター養成講座含）。	平成30年4月～ 平成31年3月 20回程度

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
見守りネットのば	地域の高齢者の生活の支援、また緊急時における体制を確立するために、地域包括支援センターと配達事業者とで、安否確認のネットワークを構築していくために連絡会を開催します。	平成30年年度 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーとの連絡会	地域のネットワーク構築の一環として、ケアマネジャーと民生委員との関係作りを目的に情報交換会を実施します。	平成29年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転ばぬ先の杖	介護の場面に直面したとき、介護する方、介護される方が共に安心して生活がおくれ、住み慣れた地域で最後まで暮らしていけるよう、介護に役に立つ情報や基礎知識が得られる講座を開催します。	平成30年度 1回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性クッキングのば	男性が調理をすることでセカンドライフの充実、地域の仲間作りと交流、野庭ふれあいまつりへのボランティア参加を目的として行います。	平成30年4月から平成31年3月まで全12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
どれみの森のおともだち	子育て支援として音楽や・リズム遊びを取り入れ親子のふれあいを密にし、子育てに関する不安や悩みの解消、母子のストレス発散と仲間作り・子育ての情報交換の場として開催します。	平成30年4月から平成31年3月までの全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のびのびヨガ教室	高齢化による身体の衰えを過剰な運動ではなく、ゆっくりとした運動による動きを中心とした、ヨガにより心身のストレスを解消するために行います。	平成30年4月から平成31年3月まで全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと子のおしゃべりサロン	地域の子育て支援者、保育園等と協力し日頃の子育てに関する悩みや、不安を軽減する仲間作り・憩いの場として開催し、毎回季節感のある行事を実施し親子で楽しんで頂きます。	平成30年4月から平成31年3月まで全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ野庭サロン	高齢者の外出支援を目的に地域の井戸端会議的な集いを提供する事を目的とします。地域包括支援センター共催。	平成30年4月から平成31年3月まで全10回開催

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
港南なつっこ	港南区社会福祉協議会との協働事業で障がい児余暇活動支援事業の一環として、ケアプラザとして会場の提供を行い夏休み期間中に遊ぶ時間を作り思い出作りをしてもらおうという企画の支援を行います。	平成30年8月6日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅連合自治会 夏祭り	野庭中央公園で開催される地域自治会主催の夏祭りに参加し、地域の一員として地域との交流を活発に行うために参加します。 模擬店の内容は子どもを対象とした「おもちゃ」販売を行います。	平成30年8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭ふれあいまつり	地区センターとの共催による事業で子どもから大人まで、地域住民の方が楽しめる企画を予定しております。	平成30年10月7日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊びにおいてよこ どもフェス ティバル 2018	地域の保育園・幼稚園・区役所子育て支援課・港南土木事務所・交通局・消防署・地域自治会・民児協・地区社協等の人的資源が協働し子育て支援として事業を開催します。	平成30年11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野庭住宅チャリ ティーバザー&福 祉フェスタへの参 加	地域福祉事業の一環として、野庭住宅社会福祉協議会主宰の野庭中央公園チャリティーバザーに参加し、地域団体と地域住民との交流を目的とし参加します。 また売り上げの一部をバザー協賛金とします。	平成30年12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団暖会 ぽかぽかハート ネットワーク	地域ケアプラザとボランティアとの関係をよりよくするために勉強会、交流会を開催し、日頃のボランティア活動に対する問題点や希望・要望について意見を伺い、より一層の関係強化を図ることを目的に行います。	平成30年 10月～11月 2回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたの広場	地域の仲間作り支援として季節の歌を中心に童謡や愛唱歌を歌い楽しんでもらうことを目的に開催します。	平成30年度 6月、11月、3月 3回開催

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てママの健康美ヨガ	子育てのママ自身のリフレッシュ・健康保持の目的で開催いたします。	平成30年4月から平成31年3月まで全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のぼこども食堂	子どもの孤食や居場所作りの支援、地域交流の場として開催いたします。	平成30年4月から平成31年3月まで全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みぢかな芸術家たち	地域のみぢかな芸術家を発掘し、その作品を展示し地域の方たちに観て頂き、文化交流の場を提供することを目的とします。ケアプラザ廊下に展示します。	平成30年4月から平成31年3月まで全12回